

登録コード	E8561400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	齊藤 忠彦
英文授業名	Graduation Study					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				学校の音楽教育に携わる専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を高めることができるようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				卒業論文の書き方を学び、各自が設定したテーマを追究し、それを論文としてまとめることができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	音楽教育研究の分野や研究手法について学び、各自で設定した研究テーマに沿った、実態調査、実験、授業実践等を行い、新たな知見を明らかにし、卒業論文をまとめる。						
(5)授業計画	第 1 回～ 第 5回 音楽教育に関わる卒業論文の書き方の基礎 第 6 回～ 第 8回 先行研究の検討（研究論文，書籍） 第 9 回～ 第13回 卒業研究のテーマ設定，研究方法の検討 第14回～ 第20回 実態調査，実験，授業実践など 第21回～ 第27回 卒業論文の作成 第28回 研究発表						
(6)成績評価の方法	・ 取り組みの過程（20％），卒業論文の内容（60％），研究発表（20％）として評価する。 ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	(i) 研究テーマの設定が適切であり，(ii) 先行研究の検討ができており，(iii) どのような課題があるのかを指摘できており，(iv) 研究手法や分析が適切であり，(v) その上でオリジナル性の高い研究論文を仕上げることであれば「卓越している」。(i) から(v)の 5 項目を満たしていれば「かなり上にある」。4 項目までできていれば「やや上にある」。3 項目までできていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	卒業研究を進めるためには，授業時間外の準備にかなりの時間を要する。あらかじめ研究のための時間を週予定に組み込んでおくことが望ましい。						
(9)履修上の注意	・ 計画的に研究を進めることができるように各自で検討しておくこと。 ・ 実際の教育現場での調査や模擬授業を行う場合は，早めの手続きが必要となるので，事前に申し出ること。 ・ 音楽教育に関わる研究会や公開授業にできるだけ参加することが望ましい。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	オフィスアワー：研究室在室時は常時対応可（N410） 研究室電話：026-238-4133 メールアドレス：saitota@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	適宜紹介						
【参考文献】	適宜紹介						